

HONKAN

図書館ボランティア「本探」が 第39号
旬の図書館情報をお知らせします

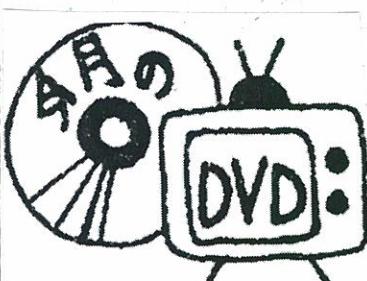
ウキウキない情報か
いいよ、★

2013年
7月号

H E A D ON TAN D PIECES

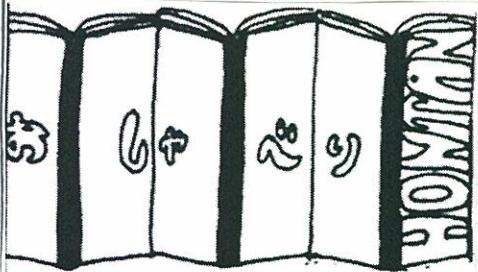
今回のピースのテーマは...

『HONTAN X-バー オススメ本!!
(*小説など！)』



■シックス・センス 778.72 / 5

映画『シックスセンス』は、全米で1位タイニアゲ出に次ぐ、7週間連続第1位の記録を樹立して衝撃の話題作。「僕には死んで三人が見える」と言ってじて閉ざして8歳の少年の苦悩と、少年を救おうとする小児精神科医の話。キャラクターは、「衝撃のラスト」に詳しいといつてください。ラストの秘密に向かって、次に何が起るかというスリルとサスペンスで観る人に恐怖感を与えていく感じになっていますので、暑くてエコノミーの季節にピッタリの作品です。 <伊え上>



今日のおしゃべり HONTAN のテーマは、「本を選ぶとき(買うとき)の決め手は?」

HONTAN × ハーの選び方とは?!

鶴 私は長編ものやシリーズものを読みたいのですが、「これはこの後、何回も読むくなる」と思う本だけを買うようにしています。図書館の本は、小学生・中学生のころによく借りて読んでいましたが、高校に入ってからも読む時間が少くなり、ほとんど借りませんで。お金があれば単行本も買いますが、基本的に金欠なので、文庫本ばかり買っています。

ひわこ 僕も複数回読み直す本を買います。小説は読む時間の関係上、あまり読めないので、最近は学術書のような高価な本にシガレットあります。



『星を運ぶもの』 ジェイムズ・P.ボーゲン 933/H

今月は初夏の不安定な天候の中で、夏休み前のテスト期間を迎える7月ということで、単位の不安なあたりの逃避や旅の道連れとなるSFを紹介したいと思います。SFはTripするにはピッタリですよ!!

物語は近未来、人類は月への拠点を作ることに成功しており、そこでは真紅の宇宙服を着た5万年前の人間と鬼き死体が発見されます。彼の所持品からは想像を超えた高度な技術で作成するアイテムが発見され、そこは舞台は地球へと移ります。先進的な研究を行なう様々な分野の学者が活動員され、謎を一つずつ解き明かしていきます。そこから、アーニィは、その死体は、〇〇であるといふところでもない結果でした。

この本の面白さは、ミステリーのように謎解きが我々の想像を絶頂まで起させていくことになります。謎解きは、死体と所持品。遠い昔に奮闘した巨人。地球を這い廻る学者の奮闘。惑星の生成と消滅。地球の壮大な歴史。激しい生存競争。転車は考古学者。どれもこれも胸躍るもので、一気に高気分を進めてしまいますが、じぶ酉ひぐく。続編があります!!

この夏は未知の生命体の存在と共に、知識人と共に謎を解き明かしてみてはいかがでしょうか。

（ひわこ）

HONTAN 展示
みづけ

DVD 展示

今回のDVD展示は、「これを青春! 特集」です。7月には、本格的な夏が始まりました。夏といえば、祭り、ストーリー、海、そして...恋(?)の季節! やりたいことたくさんあります。試験もあれ、夏休みもまた先だし...。「でも、せっかくの夏だから青春したい!」とう思って人はぜひ参考にしてみてください。足元に、ひと夏の青春を味わえてませんか?

今回の学生展示のテーマ「青春」です。今からでも書いてほしい様な青春小説を集めています。青春の葛藤を描いてくるもの、また、絶対に泣かせてくれやがるものの青春小説と呼ぶべきです。それが、ちと照れちゃうくらいもありました。(ほんと泣けてセリフを読んで見たくありませんか?) 読んで後は、青春といふこと、なんとなく分かります。

学生展示

が、いざ欲しくなれば、何かで犠牲にしてでも買います。

咲季 私はテレビで紹介された本や、書店に置かれている紹介文を読んで面白そうに本を、あまり買わずに図書館で借りるようにしています。恋愛小説よりミステリー・小説の方が好きなので、そういうジャンルの本や、読んで面白かった本の作者さんの本を言同じて読むことが好きです。

きい 私は、好きなジャンルが家族と合う場合が多く、書店で買ってお互い交換して読んでいます。また、好きな作家さんの本や他の方がおすすめする本を貰ることが多いです。他にも、題名やジャケットで、気になる本は粗筋と適当なページを読んでから買います。

珠 私は借りる派なので、あんまり買わないのですが、買うとしても、本当に好きな作家さんの中の、更に短編集を買います。長編は好きな感じ場所とともに、短編だと手元に置いていても気軽に読めます。

漫画なら表紙買いますけど、小説は無いですね。小説なら最新の

数ページと後書きを読んで決めます。個人的に、後書きで真面目に書かれた作家が好きなので、お金のあるときはそりやけで衝動で買っちゃいます。でも、無いときはネットの評価とかを見た上で、本屋で30分以上悩んでから決めます(笑)「これが買いたい!」って思って本屋に行ったり、「なんかおもしろいの?」って行ってることが多いので尚更。

きく 私もみなさんと同じで、借りたり、作者さんやジャンルで買ってたりします。けれども、この間、シャツツトに一日惚れてしまい、今まで迷って買わなかってたりしていた本を、一気に8冊ほど大人買いしてしまって...。読む本が一気に増えてワクワク気分と、お金を使って達成感(?)でいっぱいですが、財布の中にはまだ空いてるかもしれません。利用は計画的!

**HONTAN
雑誌の書評を紹介**
Pick up MAGAZINES

『ダ・ヴィンチ』7月号

『ヒコ アルキナタ』というページから紹介します。僕はまだ、かわいくもあり、王族感もあるヒコのイラストに目がいきました。夕方の駅に、人間と同じくらいの大きさのヒコが立つん、と一瞬。「このページで読むけれど、どう画的に思いました?」

この号の特集は「覚悟」。かわいいイラストで裏腹に、重い内容で二つと勝負時に思いました。内容は、3年間入院しているヒコと祖母のお話。祖母はもう動かすことも会話をすることもできていった末でした。ヒコに之して祖母は、何でもできることはないのです。ヒコは祖母が入院している状況で受け入れられていないようです。同じ病院で入院しているが、元気な祖父も、ヒコと同じように受け入れられていないようです。しかし、ヒコが書き写した文字が祖母に似ていますため、祖母と向き合う覚悟を持つのです。

大沢アリスは自分の中に、必ずいる感覚でくれるお話を。

（全）